

こまっ子

もう1/3が終了かあ!

7月22日は1学期終業式です。いよいよ夏休みが始まります。早いもので、今年度ももう3分の1が終わったということですね。皆さんは、思っていたような1学期を送ることができたでしょうか。なかなか、思うようにはならないものですね。私自身も、反省点が多いです。ただ、自分自身には、「焦らずやろう」と言い聞かせています。焦って取り組んで、ろくなことがなかった、という経験をたくさん積んできたからです。きっと、焦ってやることで、本来必要なバランスを崩してしまうのではないのでしょうか。人間が転ぶときは、重心が体の外に出てしまった時、つまり、バランスを崩した時なのです。

そのようなわけですから、思うような1学期が送れなかった皆さんも、焦らず、もう一度やり直してみましよう。ただし、なにも振り返ることなく、ただ漫然と過ごしていくのはなしです。夏休みは、心と体をリラックスさせて柔らかくすることと、1学期の振り返りと立て直しのために使ってほしいですね。もちろん、1学期が思うようにできた人は、自分を大いに褒めてあげてください!



←毎朝の読書



久々のプール授業



1年生での授業研究(道徳)

合唱集会を「お届け」します

今月の13日に、全校合唱集会を体育館で実施しました(学年合唱と全校合唱の発表)。本来であれば、この素晴らしい歌声を公開して保護者の皆さんにも見ていただきたいところでしたが、体育館の密を避けるため、参観はなしとさせていただきます。

そこで、少しでもその雰囲気を感じていただくため、撮影した動画を生徒のタブレットコンピュータを通してご覧いただけるようにしました。

本物の臨場感とは、天と地ほどの違いがあると思いますが、時間があつたら、是非、見てみてください。20日から視聴できます。

※タブレットコンピュータの使い方はお子さんに聞いてください。



制服から考えてみましょう

白根巨摩中学校の制服について今さら説明する必要はありませんが、女子用と男子用で全く違う型になっていますね。本校の制服はずいぶん昔からこの型でやってきました。私が巨摩中生だった頃も今と同じ型でした。

しかし今、「男子だから」「女子だから」という理由で制服を決めつけるのはどうなのだろうか、もっと個々の考え方や好みを大切にすべきではないのだろうか、という考え方が一般化してきました。実際、女性の中にも、スカートよりもスラックスをはきたいと希望する人が少なくないのです。そのような社会の変化の中で、制服を見直していこうという動きが、高校を中心に全国に広がっていき、中学校でも見直しを進める学校が増えてきました。近くの学校では、白根高校が3年くらい前に制服を変えました。

そこで、本校でも、女子がスラックスを選べる制服を導入できないだろうかと考えています（例えば写真のようなブレザータイプ）。今の制服が好きという人もあるでしょうし、何着も買うのは大変ですから、一斉に切り替えるのではなく、もう一つの制服として選択できるようにすることが良いのではないかと個人的には思っているところです。多方面との意見の調整や制服を作るメーカーさんとのやりとりが必要なので、来年度から導入というわけにはいきません。少し時間がありますので、皆さんも制服について考えてみる機会にしてください。**それと同時に、「社会の中での男女のあり方」について、調べたり考えたりしてほしいです。**



保護者・生徒の皆さんにお願い

- ① 5月号で、休日にコロナ感染等で緊急連絡が必要になった場合は、携帯電話で連絡をしてくださいとお願いをしましたが、別途通知でもお知らせしたように、メールでの連絡に切り替えさせていただきました。詳細は、以前に出した通知、または学校のHPの「お知らせ（6月6日）」をご覧ください。
- ② 夏季休業中は、日直のいる日でも、勤務終了時間の午後4：45頃に電話を自動応答に切り替えます。ご理解ください。なお、緊急時は上記のとおりです。

1945年(昭和20年)8月15日が終戦の日であることは知っていますね。今から77年前のことになります。第2次世界大戦でとてつもなく大きな犠牲を払った日本国民は、「二度と戦争をしない」という固い決意をしたのです。その結果(幸運もあったかもしれませんが)、日本は77年間、戦争をしない国としてやってきました。

ウクライナ紛争が続いている今、日本が引き続き戦争をしない国であるために何ができるのかを考えることが大切になっています。



たぶん、答えは単純なものではないように思います。私にもうまく判断がつかないこともあります。しかし、日本の進む道は、自分たち自身で決めなければならないということは確かなことでしょう。

そもそも地球規模の危機が押し寄せている中で、戦争をしている場合か？などと思うこともあります。皆さんも、夏休み中に、少しでも「戦争をしない国」について考えてみてください。